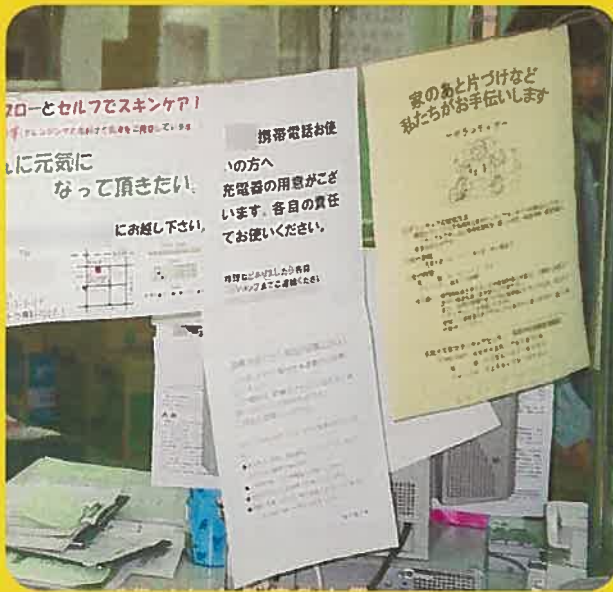


被災地等における支援活動を行う行政機関・大学・ボランティア団体等多くの方のご参加をお待ちしています



東日本大震災の被災者支援活動の過程で生じる書類や写真等の整理・保存のノウハウをアーカイブの専門家による講演とワークショップで伝えます



東日本大震災に関する 書類・写真の整理・保存講習会

～被災支援活動の経験・ノウハウを活かすために～

主催：国立国会図書館 協力：岩手県・いわて未来づくり機構

日時：平成26年8月20日(水)午後1時30分～4時(開場午後1時) **参加費：無料**
場所：岩手県庁 12階特別会議室(岩手県盛岡市内丸10-1) 定員：50名(先着順)

講演

新潟県長岡市における避難所資料の整理と保存
～市民ボランティアと災害・復興をかたりつぐ～
田中洋史氏(長岡市立中央図書館文書資料室主査)

「国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく)」*を公開している、国立国会図書館では、東日本大震災に関するアーカイブ活動支援の一環として、書類や写真等の整理・保存についての講習会を開催します。平成25年12月の東京での講習会に引き続き、平成26年は岩手県で開催します。

プログラム

- 午後1時30分～2時30分 講演「新潟県長岡市における避難所資料の整理と保存
～市民ボランティアと災害・復興をかたりつぐ～」
- 午後2時45分～3時45分 避難所資料を用いたワークショップ
- 午後3時45分～4時 質疑応答

講師

長岡市立中央図書館文書資料室主査 田中 洋史(たなか ひろし)

昭和47年、長岡市出身。新潟大学大学院修了後、長岡市立中央図書館文書資料室嘱託員などを経て、平成21年4月、歴史的文書(郷土史)専門職員として長岡市採用。平成26年4月より現職。

新潟県中越大震災を機に「歴史的資料の救済」と「震災関連資料の収集」を二本柱にした災害対応に従事。

東日本大震災にあたり、長岡市内に開設された避難所の掲示物や日誌などを収集・保存し、その整理を市民ボランティアと協働で取り組む。

中越大震災から10年目の今年、長岡市が「復興10年フェニックスプロジェクト」として開催する「災害と復興をかたりつぐ」事業の企画・運営を担当。災害対応の経験を活かして、講演・執筆を行っている。新潟大学・長岡造形大学非常勤講師。



会場

岩手県庁 12階特別会議室

- 住所 岩手県盛岡市内丸10番1号
- 電話番号 019-629-5215 (岩手県政策地域部政策推進室)

交通手段

- バス(盛岡駅から県庁:約10分) 盛岡バスセンター方面行きのバスに乗車し、県庁市役所前のバス停で下車します。
- 徒歩(盛岡駅から県庁:約20分) 盛岡駅東口から開運橋を渡り、大通を直進し、サンビル前交差点を左折、約150メートル先の盛岡裁判所前交差点を右折し、中央通を約180メートル直進した先の左側に県庁があります。



申込方法

以下のFAX番号またはメールアドレスに(1)～(5)をご記入の上、お申込みください。

- (1) 講習会名(「8月20日講習会申込み」)
- (2) お名前
- (3) お名前(ふりがな)
- (4) ご所属
- (5) 連絡先(メールアドレスまたはFAX番号)

**お申込み締切り
8月15日(金)**

* 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称:ひなぎく) <http://kn.ndl.go.jp>
講習会の一部の資料は後日、同サイト内のお知らせ(<http://kn.ndl.go.jp/information/310>)に掲載します。